

稽古の成果を存分に発揮

文化協会が芸能発表会を開催

町文化協会は3月1日、まなびの郷で紀宝町芸能発表会を開催し、大正琴や日本舞踊、太極拳、新体操、コーラス、カラオケなど、21団体総勢142人の出演者たちが日ごろの練習の成果を発表しました。

会場には、約500名が来場し、ほぼ満席となった客席からは、演目が終わる度に惜しめない拍手が送られました。出演者と来場者が一体となって会場は、終始温かな雰囲気にもまれ、笑顔と歓声が広がるなか、発表会を楽しんでいました。

Town topics
3 / 1



川口小唄を踊る「三音会」のみなさん



三重県庁前をスタートした第1走者の選手たち

Town topics
2 / 15

第19回美し国三重市町対抗駅伝

紀宝町チームは過去最高タイの9位

早春の伊勢路を県内29市町の代表選手が駆け抜ける「第19回美し国三重市町対抗駅伝」が2月15日、津市の県庁前から伊勢市の三重交通Gスポーツの杜伊勢を結ぶ10区間、42.195kmのコースで行われました。

紀宝町チームは、2時間40分19秒と前回大会よりタイムを縮め、町の部で9位、総合20位と健闘しました。監督・コーチ・選手・サポートメンバー・スタッフがワンチームとなってたすきをつなぎ、力強く走り抜きました。

駅伝終了後、ゴールとなった伊勢陸上競技場にて、小学生・中学生の選手による友好レースが行われ、紀宝町チームから4名の選手が力走しました。

合格率が1%未満の神の領域

剣道最高位の「八段」に町出身者2名が合格!!

町出身の成地勉さんと木和田大起さんがこのほど、剣道八段審査に合格しました。

剣道八段審査は、合格率が1%を下回るといわれ、「神の領域」とも称される剣道最高位の難関段位です。このたび、同じ町出身者2名が八段に合格する快挙を成し遂げました。

成地さんは、小学5年生から剣道を始め、伊勢高校から大阪大学へ進学。卒業後は、サントリーに入社し、執行役員を務められました。現在は、兵庫県にある雲雀丘学園の常務理事として、教育にも携わっており、稽古と後進の指導が続けられています。

一方、木和田さんは、紀宝剣道、矢渕中学校、三重高校を経て、中央大学へ進学。卒業後は、大阪府警に入り、平成24年の世界剣道選手権大会など数々



成地勉さん

木和田大起さん

の大会で優勝し、現在はカナダナショナルチームのコーチを務めるなど国内外で剣道の普及と育成に尽力されています。

長年にわたる鍛錬と精神修練の末にかなえた八段合格は、町にとって大きな誇りとなる喜ばしい快挙です。

練習の成果を発表

うどの幼稚園が音楽発表会を開催

うどの幼稚園は2月19日、まなびの郷で音楽発表会を開催しました。

この音楽発表会は、ご家族の方に子どもたちの日ごろの練習の成果を見てもらうため毎年行われているものです。

園児たちは、鼓隊「RPG」を元気いっぱい披露したほか、ダンスやハンドベル演奏、歌などを発表しました。

また、発表会に向けて練習に取り組む様子が動画で紹介され、会場に訪れた保護者から大きな拍手が送られていました。

Town topics
2 / 19



鼓隊の演奏

障がいのある方々が地域で自立した生活を送る拠点

障がい者グループホームが完成

社会福祉法人和歌山県福祉事業団は3月2日、神内地区にて整備を進めていた障がい者グループホーム「きぼうの家」の竣工式を行いました。

このグループホームは、障がいのある方々が住み慣れた地域で、必要な支援を受けながら生活を送るための拠点として建設されたものです。町では、事業用地の確保や町独自の補助制度を創設するなど、整備に向けて積極的に支援を行ってきました。

今後は、入居者が支え合いながら、自分らしい暮らしを送る拠点として活用されることが期待されています。

Town topics
3 / 2



参加者が施設内を見学



02



01

七里御浜防風林GG作戦

七里御浜海岸を守るため、クロマツを植樹!!

七里御浜松林を守る協議会は2月28日、「七里御浜防風林GG（グリーン・グロー）作戦」を紀宝町から熊野市までの七里御浜海岸沿いで行いました。

同協議会では、松食い虫被害や塩害などで松枯れが進み、防風機能が低下しつつある七里御浜国有林を守ろうと、毎年植樹活動を続けています。今年も、熊野市、御浜町、紀宝町の3会場で実施し、紀宝町では井田海岸の国有林に、クロマツ80本が参加した約70名の手によって1本ずつ丁寧に植樹されました。

Town topics
2 / 28

01.クロマツを1本ずつ丁寧に植樹する参加者たち。02.GG作戦に参加したみなさん。